

第5次 茅野市総合計画 4月スタート

茅野市は、昭和48年度(1973年度)からの第1次総合計画に始まり、これまで4次にわたる総合計画を策定し、目指すべき都市像の実現に向け、まちづくりを行ってきました。

この間、人口減少時代の到来、地方経済成長の鈍化、地方分権に伴う権限や税財源の移譲など、茅野市を取り巻く社会経済情勢は、大きく変化してきました。また、社会経済情勢の変化に伴い、市民ニーズや地域課題は、多様化・複雑化してきました。

このため、直接計画策定に関わるだけでも約600人の市民の皆さんに参画いただき、市政の長期的な全体像を示し、各政策の基本的な方向を明らかにし、茅野市が行う全ての政策や事業の根拠となる最上位の計画として、「第5次茅野市総合計画」を策定しました。

総合計画の計画期間

2018～2027年度の長期10か年計画です。

目指すまちの将来像

**八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす
やさしさと活力あるまち**

先人の努力により培われた八ヶ岳の自然や人と人とのつながり、生きる糧となる産業、代々引き継がれてきた歴史といったさまざまな要素を紡ぎ、織り成すことで「やさしさ」と「活力」が満ち溢れたまちを目指します。

総合計画の構成

目指すまちの将来像を実現するために、5つのまちづくりの基本指針を設定し、その下に基本となる6つの政策と5つの政策横断プロジェクトを定めました。

これらを実現するために、政策の基本的な方針等を具体的な事業計画として位置付けた基本計画を分野別に定めました。

基本構想

基本理念

基本理念とは、まちづくりを進めていく上で最も重要かつ基本的な考え方で、長期にわたって目指すべき方向性を示すものです。

総合計画の基本理念は昭和57年7月に制定された「茅野市民憲章」です。

まちの将来像

八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす
やさしさと活力あるまち

まちづくりの基本指針(P8)

将来像の実現に向け、基本計画の中で特に重点的に取り組んでいく5つの視点を「まちづくりの基本指針」として定めます。

基本政策・政策横断プロジェクト(P9)

基本指針を実現するための6つの基本政策を掲げました。また、基本政策の枠組みにとらわれず、一つの取組で多面的な効果を生み出す施策や事業を「政策横断プロジェクト」として位置づけます。



基本計画(P10)

基本計画は、基本構想を実現するため、基本構想に示した政策の基本的な方針等を具体的な事業計画として位置づけるものです。第3次茅野市地域福祉計画(ビーナスプラン)や第3次茅野市子ども家庭応援計画(どんぐりプラン)といった分野別計画を基本計画として位置づけます。

まちづくりの基本指針

将来像の実現に向け、基本計画の中で特に重点的に取り組んでいく5つの視点。

1. 地域やあらゆる世代で支え合う仕組みづくり

人口減少や少子化、超高齢社会が同時に進行する中、世帯の核家族化やひとり暮らし高齢者世帯等の増加が予想されます。地域における高齢者の見守りや子育て支援など、共助の取組を活発化することで、地域が元気になり、市民が安心して暮らせることを目指します。



2. 21世紀を生きる力を育む仕組みづくり

八ヶ岳連峰の豊かな自然と縄文文化に抱かれた郷土を愛し、豊かな心を育み、人としての品格を養う教育の理念のもと、「21世紀を切り拓く、心豊かでたくましくやさしい夢のあるひと育ちの茅野市教育」を進め、「生きる力」を育むことを目指します。



3. まちの活力の向上を図る仕組みづくり

まちの元気を向上させるには、ものづくり技術を中心とした地域産業や縄文遺産、自然環境などの地域の強みをより一層活かしていく必要があります。「観光を活かしたまちづくり」や「公立諏訪東京理科大学と連携したまちづくり」を進めます。



4. 安全・安心・豊かな暮らしを支える社会基盤づくり

茅野市の財産である、豊かな自然や素晴らしい景観を次世代につないでいく取組を進めます。

また、インフラ施設、公共施設については、今あるものを最大限活用するとともに、長寿命化・耐震化・整備等を計画的に実施し、安全・安心な社会基盤整備を進めます。



5. あらゆる主体による協働のまちづくりに向けた仕組みづくり

これまでの活動分野や地区における連携に加え、民間企業、各種団体、個人、地域との連携など、あらゆる主体がつながりを築き、地域課題を解決していくためにパートナーシップのまちづくりを理念とした人づくり、場づくり、関係づくりを進めます。



6つの基本政策

保健・医療・福祉

お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり

- 保健・医療・福祉の連携一体化を推進し、心身ともに健康で暮らしやすい地域を創造し、「人にやさしくお互いに支えあうまち、住んでよかった茅野市」を目指します。

子育て・教育・文化

生涯を通じて学び続け、未来を切り拓く、心豊かなひと育ち

- 市民一人ひとりが学び続けられる環境を整え、創造力あふれる人づくりを目指します。
- 人と人とのつながりを大切に、地域と共に次世代を担う子どもたちの『生きる力』を育みます。

環境・市民生活

八ヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市づくりと安心な市民生活の確保

- 自然環境・生活環境の保全や循環型社会の構築などに向けた取り組みを推進し、良好な環境を次世代に継承します。
- 安全で安心な市民生活の確保に取り組みます。

産業経済

「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」活力と活気あふれるまちづくり

- 様々な地域資源を活用した新たな付加価値の創出や地域ブランドの形成を図るとともに、各産業の経営力や技術力等の強化、人材の確保・育成、事業活動の基盤となる環境整備を進め、活力と活気あふれるまちづくりを目指します。

都市基盤

豊かな自然と共生した安心・快適なまちづくり

- 道路や河川、上下水道といったインフラ整備を進めます。
- 人口減少・少子高齢化などに伴い生じる空き家増加などの課題に取り組んでいきます。
- コスト面だけでなく都市基盤全般を考慮した持続可能なまちづくりを目指します。

行政経営

やさしさと活力あるまちづくりを支える持続可能な行政経営

- 目指すまちの将来像や、各政策で実施する様々な取組を着実に実現していくため、市民のまちづくりへの積極的な参加と、茅野市の経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を最大限に活かした持続可能な行政経営を進めます。

5つの政策横断プロジェクト

- ①5000年の歴史を未来につなぎ ^{とき} 力強く明日が輝く茅野市をつくる
(人口減少・少子高齢化対策の推進)
- ②自助、共助、公助による災害に強い支え合いのまちづくり
- ③優れた縄文の文化・精神を取り入れ、活かし、継承するまちづくり
- ④心豊かな多文化共生社会の実現をめざす(多文化の共生と国際交流の推進)
- ⑤ICTが支える、ひとにやさしい暮らし

基本計画(分野別計画)

基本計画は、基本構想を実現するため、基本構想に示した政策の基本的な方針等を具体的な事業計画として位置付けるものです。

<ul style="list-style-type: none"> ● 地域福祉計画 食育推進計画 健康づくり計画 障害者保健福祉計画 高齢者保健福祉計画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育大綱 生涯学習推進指針 ことば・家庭応援計画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境基本計画 減CO2計画 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業振興ビジョン 建設産業振興ビジョン 観光振興ビジョン 工業振興ビジョン 商業振興ビジョン 林業振興ビジョン 農業振興ビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画マスタープラン 茅野市原村生活交通確保維持改善計画 下水道中期ビジョン 水道ビジョン 公営住宅等長寿命化計画 空家等対策計画 建築物耐震改修促進計画 住生活基本計画 景観計画 緑の基本計画 駅周辺地区バリアフリー基本構想 立地適正化計画 道路河川等整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政経営基本計画 男女共同参画計画 公共施設等総合管理計画 	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用戦略 多文化共生・国際交流推進計画 縄文プロジェクト 地域防災計画 地域創生総合戦略
---	--	---	--	--	---	---

上記の各計画は、市ホームページ、市役所(各担当課)、図書館、地区コミュニティセンターでご覧いただけます。

将来展望人口

将来展望人口とは、出生率の向上や転入者の増加など、様々な人口減少対策の効果を見込んだ推計人口のことです。

	中間年度 (2022年度)	目標年度 (2027年度)
将来展望人口	55,000人	54,200人
【参考】現状推計人口	54,682人	53,269人

↑ +318人
↑ +931人

国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を基本に、出生率、純移動率が現状のまま推移すると仮定した【現状推計人口】では、茅野市の人口は、2040年に48,369人、2060年に39,460人にまで減少すると推計されます。

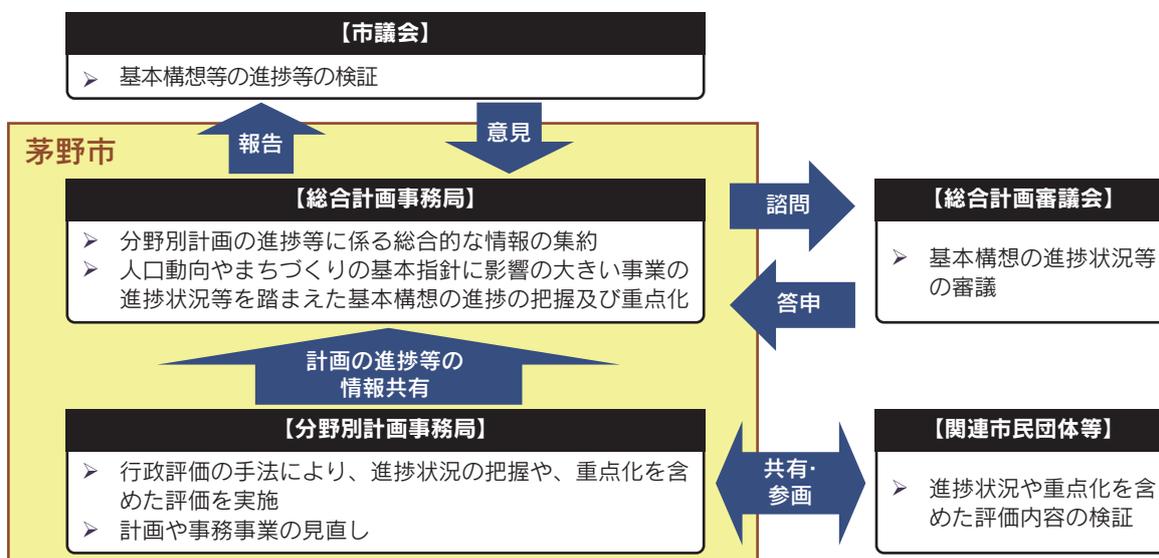
一方、出生率の向上や子育て環境の整備、移住・定住・二地域居住の推進、産業振興、交流人口の増加、地域コミュニティ活動の充実といった人口減少対策の効果を見込んだ推計を行った結果では、2040年に51,292人、2060年に46,468人になると推計されています。

この推計結果を受け、第5次茅野市総合計画における将来展望人口を上記のように設定します。

構想推進のために

市民参加と協働による自助(市民力)・共助(地域力)・公助(行政力)の考え方を基本とし、パートナーシップのまちづくりの理念と手法のもと、市民や市民活動団体、行政等が相互に連携し、協働するまちづくりを進めます。

「計画(PLAN)→実施(DO)→評価・検証(CHECK)→改善・見直し(ACT)→計画(PLAN)」のマネジメントサイクルに基づき、継続的に施策・事業の改善・見直しを行いながら、着実な計画の推進を図ります。



お知らせ：第5次茅野市総合計画の概要版を秋に配布する予定です。

問 企画財政課 企画係 ☎72-2101(内線152・153)